

地域貢献・社会貢献活動への取り組み

当金庫では、金融仲介機能の発揮にとどまらず、教育、文化、環境(生物多様性保全を含む)など、地域の活性化につながる活動に積極的に取り組んでいます。

交通安全運動の取り組み

毎月ゼロのつく日に、街頭でドライバーに対し、安全運転を呼びかける啓発活動を行っています。



交通安全啓発活動

金融経済教育支援の取り組み

金融経済教育支援を目的として、学生を対象とした「教室」を開講し、生徒たちが店舗で実体験する職場体験学習や当金庫職員が学校で講義を行う金融出前講座を実施しています。



投資教育支援のための授業

清掃活動の取り組み

信用金庫の日(6月15日)や当金庫創立記念日(10月3日)には、全役職員が店舗周辺の清掃活動を行っています。

毎年10月には、自然環境の保全のため、イタセンパラが生息する木曾川流域で実施される「川と海のクリーン大作戦」に参加し、河川の清掃活動を行っています。



川と海のクリーン大作戦

環境保護の取り組み

生物多様性の保全に関する普及啓発の取り組みとして、イタセンパラ(国の天然記念物)を飼育しています。

イタセンパラはタナゴと呼ばれる魚の仲間です、世界でも日本の3ヵ所にしか生息していない大変貴重な生き物です。

また、環境省のレッドリストの中で絶滅危惧IA類に分類されています。



本店営業部にて鑑賞できます

地域貢献・社会貢献活動への取り組み

芸術・文化支援の取り組み

事務センターに併設しているコミュニティホールやギャラリーでは、講演会や展覧会、コンサートなどを開催しています。著名人から地域の皆様まで、幅広い分野にわたり、芸術・文化活動の情報を発信しています。



チャールズ会展示会



「南海トラフ地震とハイパーインフレ」セミナー



中小企業施策活用セミナー

地域行事への参加

地元で開催されるお祭りやイベントに参加しています。



びさいまつり

138ひつじプロジェクトについて

「138ひつじプロジェクト」は、一宮市において産官学金言民の連携による地域の経済的・社会的な活性化を図る目的で設立された「一宮活性化プラン協議会（事務局：尾西信用金庫）」が推進する地域活性化プロジェクトです。一宮市の主要産業である毛織物の原材料（ウール）の提供者である「羊」をテーマとした地域活性化活動を行っています。詳しくは、138ひつじプロジェクトHP (<https://138sheep.net/>)をご覧ください。

